

ファシリテーター文言カード

慣れないうちは、この文言カードを名刺カードに印刷し、カンファレンス時に活用してください。
(百円均一ショップで購入できる名刺カードにそのまま印刷して使用できるように設定しました)

厚紙で印刷するなら以下の通りの設定となります

上余白 11 mm
横余白 14 mm
ラベルの高さ 55 mm
ラベルの幅 91 mm
垂直方向の間隔 55 mm
水平方向の間隔 91 mm
列数2
行数5

1. 本日は話したいこと

- ・〇〇さん（今日の事例提供者）が、今、話したいと思っ
ていらっしゃる、心配されたり、困っておられることを教
えて下さい。
- ・他の参加者からも、支援に際して、話したいことがあ
れば心配ごとを聴かせて下さい。

2. ジェノグラム・エコマップ

- ※既存のフェイスシート等を活用する場合には省略可
- ・ご本人の家族構成を教えてください。
 - ・フェイスシートにあるような基本属性やイメージづくりに役立つ
情報を教えてください。
 - ・（フォーマル、インフォーマル合わせて）関わっている人たち
について教えてください。

3. 支援経過

- ・これまでの支援経過の概略を教えてください。
- ・いつから、どの機関が関わっているか、いつからどのサービス
を使い始めましたか。
- ・関わり方が大きく変わったときや、支援の中でご家族の状況
に大きな変化があったときはありましたか？

4. 本人・家族のできていること・悪くないこと

- ・ご本人やご家族に「できていること・良いこと」「悪くないこと」
「いま何とか出来ていてこれからも続けたいこと」についてお聞
きしたら、なんとおっしゃるでしょうか？
- ・ご本人やご家族が、お互いを褒めていたり、労っていたりする
ことはありますか。それはどのようなことですか？
- ・支援者からみて、追加することはありますか？「まじなこと」と
か「これからも変わらないでほしいこと」等でも構いません。で
きるだけあげて下さい。

5. 本人・家族の困ったこと・心配なこと

- ・ご本人やご家族は困っていることを、何とおっしゃっていますか
／ご本人やご家族は、心配したり不安になっていることにつ
いて、何とおっしゃっていますか。
- ・支援者が、いま困っていることは何ですか／支援者が、今後
について心配したり不安を感じていることはありますか。
- ・緊急に対応しなければいけないことには印をつけましょう／実
際に起こったことと、起こる可能性のあることを一緒にしない
ように、分けて印をつけましょう。

6. 支援者のうまくいった関わり方

- ・ご本人やご家族を支えようとしてどんな工夫をされましたか
（言葉かけの工夫など）。拒否されたり、苦情が出たもの
以外はまず全部、書き出してみましよう。
- ・気になることに関して、どんな働きかけをしましたか。悪くなっ
たことは全部上げましよう

7. 支援者のうまくいかなかった関わり方

- ・（良かれと思ったことでも）うまくいかなかった関わりはありま
すか。それはいつ、どのような状況に、どのように働きかけたの
ですか。
- ・うまくいかなかった理由は分かりますか。ご本人やご家族が嫌
がる言葉、言い返しはありますか

8. 本人・家族の望み

- ・ご本人・ご家族は、どんなふうに過ごしたいと思っ
ていらっしゃるのでしょうか。願いがかなったら何をなさっている
のでしょうか。
- ・ご本人・ご家族が望んでいることや願っていることはありま
すか。
- ・ご本人・ご家族から、「〇〇できたらなあ」等と聞いたことはあ
りますか。

9-1. 「安全像」

- ・参加者それぞれが想像する本事例の「安心した・安全な暮らし」のイメージを聴かせてください。安全像を一致させる必要はありません。ご本人だけではなくご家族も安心・安全と言える状態を考えましょう
- ・さしあたって、本事例でご本人やご家族にどんな状態が続いていたら、安全な暮らしが継続できていると思えますか／どんな状態が見られれば、ご本人やご家族が安全に暮らしていると本人、家族、他の関係者の皆が思えるでしょうか。

10. 今後の取り組みアイデア

- ・安全到達度を少しでも上げるために何ができるでしょうか
- ・今やっていることで、これからもやろうと思うことをまず挙げましょう
- ・まだやっていないけれど、これからやってみたいと思うことやできたらよいと思うことを挙げてみましょう。

12. 現時点でのプラン

- ・誰が、いつ、何をするかを意識しながら整理しましょう。
- ・次の会議日までは安全が確保される見通しが立ったと言えますか。
- ・次回の会議日をいつにしましょうか（日付を決めない場合は、次の会議を招集する条件を決めましょう）。

9-2. 安全到達度評価（安全像に対するスケールリング）

- ・いろいろな安全（安心した暮らし）のイメージの全体を、現時点での本事例の「安全像」としましょう。その状態 10 点満点と考えてみて下さい。直ちに強制介入すべき状態（虐待事例でなければ「本事例で考え得る最悪の状態」）を 0 点としたら、いまは何点だと思いますか？
- ・それぞれの見方を共有しましょう。全員で一致している必要はありません。
- ・何があるからその点数なのか、判断の根拠は何ですか？

11. 見通し

- ・挙げたアイデアを実施した場合の見通しを考えて下さい。現実にはできそうでしょうか。続けられそうでしょうか。役立ちそうでしょうか。
- ・挙げたアイデアリストのそれぞれについて、見通しを考えて下さい。誰か特定の支援者に過剰に負担が偏りすぎていませんか。現実的にできそうなことでしょうか？
- ・挙げたアイデアの全てをやったらどうなりそうでしょうか。やめたらどうなりそうでしょうか。